



中丹

農業改良

普及センターだより



省力化のホープ
(レール式茶園管理機)



始めよう京のブランド野菜
(みず菜栽培)



顔の見える地場野菜
(地元産野菜直売所)

頑張る将来の担い手
(綾部市の実践農場にて)



進めよう京都こだわり農法
(自家製もみがら堆肥づくり)

集落で小豆の大規模栽培
(大型機械による小豆の播種)

農業改良普及センターは府の組織改革により、中丹東・西の2カ所となりました。また、従来の課制から、企画技術と地域支援という2部門で普及活動を展開することとなりました。

農業をめぐる情勢は、BSE、鳥インフルエンザウイルス問題以降食品への信頼が大きく揺らいでいるところです。

農業の大切さを分かち合い、元気の出る農業を中丹地区で展開していきましょう。

中丹東農業改良普及センター所長
寺田 修

今年、新たな米政策がスタートした年ですが、地域農業を取り巻く環境は30年余り続いた生産調整からの脱却にはならず近年の気象変動と同様にその時々に対処する変動相場制に類似しています。

地域農業を支えてきた普及活動も社会的、経済的変遷に伴い、本年5月に新たな組織体制としてスタートしましたが、その機能効果は農業者皆さんの双肩に期待するところが大きいと考えています。

中丹西農業改良普及センター所長

亀井重義

京都府中丹広域振興局農林商工部

◆発行◆
2004(平成16年)10月

中丹西農業改良普及センター

〒620-0055 福知山市篠尾新町1-91
TEL 0773-22-4901

e-mail:chushin-no-nishi-nokai@mail.pref.kyoto.jp

中丹東農業改良普及センター

〒623-0012 綾部市川糸町丁島10-2
TEL 0773-42-2255

e-mail:chushin-no-higashi-nokai@mail.pref.kyoto.jp

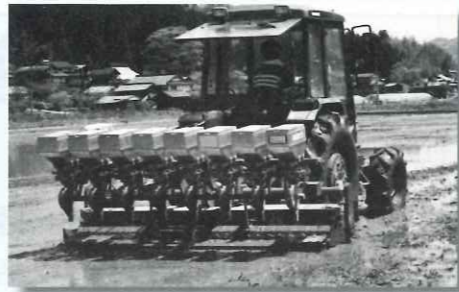
新たな普及活動の展開で中丹地域農業のよりよい発展を!

土地利用型作物の省力、低投入高品質栽培の推進プロジェクト

◆課題名：モデル集落営農組織の育成

目標

中丹地域では高齢化が進み、地域の担い手不足が深刻で、農地保全も難しくなっています。
そこで、集落営農組織で水稲・小豆の省力化に取組んでいる綾部市館(水稲直播5.3ha・小豆4ha)と三和町川合(水稲直播1.9ha・小豆4ha)の取組を支援していきます。



活動方法

- ①水稲打込式直播栽培ではより効果的な除草・施肥法を検討し、移植栽培並の収量、品質を目指します。また小豆では、機械化一貫体系により、省力化を検討します。
- ②水稲打込式直播栽培と小豆機械化一貫体系の組み合わせにより、担い手として農地保全等の活動ができる集落営農組織の育成を図ります。
- ③管内の他集落にも水稲及び小豆の省力化体系の導入に向けて呼びかけをしていきます。

ブランド京野菜等の産地づくりプロジェクト

◆課題名：足腰の強い産地を目指したみず菜・万願寺とうがらしの生産振興

目標

中丹地域で生産されているブランド野菜10品目のうち「みず菜」「万願寺とうがらし」等、施設野菜の振興計画(倍增戦略)の推進のため、支援活動を行います。

活動方法

- ①生産拡大に向けた仕組みづくり
ハウス導入による面積拡大を進めるために、各地域 毎の具体的な状況把握や改善点等の条件整備を図ります。
- ②新規栽培農家の確保
多様な担い手を確保するため、定年帰農予定者や新規参入者等への支援を行っていきます。
- ③生産力向上に向けた技術支援
新たに「みず菜」や「万願寺とうがらし」の栽培を始められた方に対して技術支援を行います。また、万願寺とうがらしの新系統試作に向けての取り組みを進めます。



香り高い茶の産地づくりプロジェクト

◆課題名：茶産地の将来方向と新規栽培者の育成

目標

宇治茶の増産が緊急課題の中、両丹地域の茶産地拡大に向け、荒廃茶園の防止、新規茶園の造成、茶園を守る組織・担い手の育成を目指します。

活動方法

- ①水田新植の造成実証
綾部市内の水田で茶を新植する計画がありますが、排水が悪いので、排水を良くするための技術支援により水田転換モデルを作ります。
- ②荒廃茶園対策
生産者毎の茶園管理状況及び今後の意向を調査し、それを地図に落とし、生産組合等への作業管理啓発を行うことで、茶園の荒廃化を未然に防止していきます。
- ③「両丹いきいきファーム」の運営支援
昨年設立された同組織に対し、経営計画の改善と併せて新植計画を濃密に支援していきます。
- ④新規栽培者対策
2名の新規栽培者に対し、茶栽培技術の習得を中心として濃密に支援していきます。



「こだわり農法」・安全安心プロジェクト

◆課題名：中丹地域における京野菜等のこだわり技術の開発

目標

安心、安全な農産物が求められる中で、ブランド京野菜は土づくり、減農薬、減化学肥料にこだわった栽培をすすめており、管内各地で実証活動に取り組んでいます。



活動方法

- ①みず菜ハウスの土づくり技術を高めます。新規のハウス栽培者をモデルに、計画的な対策による土づくりの成果を実証します。(綾部3戸、福知山1戸、舞鶴2戸)
- ②紫ずきんの定植時からのマルチ栽培により減農薬と生産安定性を確認します。除草対策、土寄せが省略できるうえ、初期生育の促進が期待できます。(綾部2、福知山、舞鶴各1か所)
- ③施設の難防除病害虫の農薬に頼らない防除法を検討します。
 - ・万願寺とうがらしの青枯病回避のための新たな苗木(舞鶴1か所)、天敵利用によるスリップス防除技術(同7か所)
 - ・賀茂なすの防虫ネットハウスによるオオタバコガ被害回避(綾部1か所)について実用化を目指します。

新規就農の促進及び担い手の経営改善プロジェクト

◆課題名：新規就農者の確保・育成と就農予定者に対する支援

目標・活動方法

- 中丹地域の担い手の確保・育成を図るため、以下のことについて活動します。
- ①新規就農受入地域の掘り起こし
就農希望者を受入できる集落を調査し、受入体制などが整備できるよう支援します。
 - ②新規就農者への基礎知識の習得
新規就農者や研修者を対象に栽培技術や経営を学ぶ「あすなる講座」を開催し、農業の基本的な知識の習得を支援します。
 - ③経営計画の支援
これから就農される研修者の方を対象に、就農に向けた経営計画の作成をお手伝いします。
 - ④仲間づくりの支援
中丹地域の新規就農者や若い農業者が情報を交換、共有できるような環境づくりを支援します。



「就農希望者を地域で受け入れよう。」と思われる集落があれば、まずは、普及センターへ御相談下さい。

農業の二次化・三次化及び地産地消プロジェクト

◆課題名：農産物直売と農産加工品づくりを核としての地産地消活動

目標

京都府では、地元農家の方が丹精込めて栽培された野菜等を、新鮮かつ旬のうちに地元で食していただくことを主眼に「地産地消」の取組を推進しています。

現在、各地で直売所を開設され、それぞれの野菜等を提供されていますが、農業改良普及センターはこれら生産及び直売所の健全経営が判断できる指針づくりのお手伝いをさせていただくこととしています。

また、地元産野菜等を学校給食に利用していただき、おいしい地元産野菜等を食べることにより、子供達に地域の文化や農業を紹介し、ふるさとを知り、農業への理解を深めていただくこととしています。

活動方法

- 直売所の健全経営の推進
 - ・運営の課題抽出と改善
- 周年販売及び学校給食用食材の生産計画の樹立
 - ・安心安全な周年生産計画書の作成
 - ・直売所運営に合わせた栽培こよみの作成
- 学校給食への供給体制づくり
 - ・地元産野菜を給食用食材に供給できる体制づくり



普及センターが新しく生まれ変わりました

5月1日から、舞鶴・綾部・福知山の農業改良普及センターが2つのセンターに統合され、中丹東・中丹西農業改良普及センターとして生まれ変わりました。

産地振興、地域活性化にむけた取り組みを専門担当と地域担当が連携して行い、中丹地域全体の農業の発展について支援していきますので、今後ともよろしくお願いします。

新生普及センターの体制

中丹西農業改良普及センター

所長 亀井 重義 「今は加減乗除」

◆地域支援担当(地域担当)

福知山市

- 雀部・西中筋・佐賀地域
軽野所長補佐「お役に立ちたく思います」
- 川口・庵我・旧福知山地域
吉崎専門員「元気に頑張ります。」
- 上豊富・下豊富地域
矢野専門員「笑顔で元気。」
- 六人部地域
向田技師「万とう大好き。」
- 金谷・三岳・雲原・金山 地域
吉浪技師「微力ながら頑張ります」

三和町

山内主査「……や」

夜久野町

中川専門員 「黒大豆産地の復活を！」

大江町

太田主任
おあえちようのとくさんぶつはおいしいです
「茶海老芋聚楽牛蒡芋茎」

中丹東農業改良普及センター

所長 寺田 修 「元気を出す 農業を！」

◆地域支援担当(地域担当)

- 総 括
辻 主幹「綾部勤務は9年ぶりです。」

舞鶴市

- 東部地域
澤田主任「引き続きよろしくお願いします」
- 加佐地域
今福主任「福知山出身。現七日市住民」
- 西部地域
乾 技師「努力的農家我支援能可」

綾部市

- 山家・八田地域
田中所長補佐「新たな地域を担当します」
- 上林地域
森 主査「農家の人との出会いを大切に」
- 豊里地域
野田主任「お気軽にお尋ねください」
- 物部・志賀郷地域
大砂古技師「実り豊かな秋になりますように…」
- 吉美・中筋・綾部地域
川上技師「一緒に農業を盛り上げましょう！」

◆企画技術担当(専門担当)

- | | | |
|-----------|--------|---------------------|
| ●総 括 | 宇野所長補佐 | 「昭和29年生まれの50才です」 |
| ●土地利用型作物 | 藤田技師 | 「京都生まれの中丹育ち〜♪」 |
| ●土地利用型作物 | 杉本技師 | 「飯・餅・酒が大好きです！」 |
| ●野菜・花 | 地寄係長 | 「京野菜を作りませう！」 |
| ●野菜・花 | 内藤専門員 | 「育てる難しさを実感し、日々奮闘中！」 |
| ●野菜・花 | 松田技師 | 「最若手、何でも挑戦中！」 |
| ●茶・果樹 | 竹原係長 | 「お茶の新植・改植を！」 |
| ●担い手育成 | 阪本主任 | 「元気が取り柄の私です」 |
| ●加工・地産地消 | 和田専門員 | 「地域産物活用の応援人(ひと)です」 |
| ●交流・地域づくり | 柴田技師 | 「都市農村交流してみませんか？」 |